

令和元年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(令和元年 12 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(令和元年12月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	12月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2. 負傷事故	1 (3)	1 (3)	1 (2)	3 (4)	1 (4)	1 (4)	5 (3)	5 (4)	5 (3)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	23 (30)	23 (37)
	合計	1 (3)	1 (3)	1 (2)	3 (4)	1 (4)	1 (4)	5 (3)	5 (4)	5 (3)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	23 (30)	23 (37)
	累計	1 (3)	2 (6)	3 (8)	6 (12)	7 (16)	8 (20)	13 (23)	18 (27)	23 (30)	23 (32)	23 (35)	23 (37)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	4 (0)	4 (2)
	2. 負傷事故	4 (3)	4 (4)	3 (5)	7 (14)	6 (4)	4 (5)	15 (6)	9 (10)	9 (9)	0 (9)	0 (9)	0 (3)	61 (60)	61 (81)
	合計	4 (3)	5 (4)	3 (5)	7 (14)	6 (4)	5 (5)	15 (6)	10 (10)	10 (9)	0 (9)	0 (11)	0 (3)	65 (60)	65 (83)
	累計	4 (3)	9 (7)	12 (12)	19 (26)	25 (30)	30 (35)	45 (41)	55 (51)	65 (60)	65 (69)	65 (80)	65 (83)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	4 (0)	4 (2)
	2. 負傷事故	5 (6)	5 (7)	4 (7)	10 (18)	7 (8)	5 (9)	20 (9)	14 (14)	14 (12)	0 (11)	0 (12)	0 (5)	84 (90)	84 (118)
	合計	5 (6)	6 (7)	4 (7)	10 (18)	7 (8)	6 (9)	20 (9)	15 (14)	15 (12)	0 (11)	0 (14)	0 (5)	88 (90)	88 (120)
	累計	5 (6)	11 (13)	15 (20)	25 (38)	32 (46)	38 (55)	58 (64)	73 (78)	88 (90)	88 (101)	88 (115)	88 (120)	-	-

※下段()書きは前年度(平成30年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(令和元年12月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成30年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	0	2	0	0	1	3	2	0	0	0	9	14
	2. 政令市	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	9
	3. 一般市	0	1	1	0	1	1	1	0	3	0	0	0	8	12
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	1	1	3	1	1	5	5	5	0	0	0	23	37
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	3. 処理場	1	1	0	2	1	1	3	4	4	0	0	0	17	22
	4. ポンプ場	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5
	5. その他	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	5
	合計	1	1	1	3	1	1	5	5	5	0	0	0	23	37
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷事故	1	1	1	3	1	1	5	5	5	0	0	0	23	37
	1. 墜落・転落	1	0	1	1	0	1	0	2	2	0	0	0	8	7
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	6	13
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5. 転倒	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14. その他	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	5	6	
合計	1	1	1	3	1	1	5	5	5	0	0	0	23	37	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	1	1	1	3	1	1	4	4	5	0	0	0	21	31
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
	合計(人)	1	1	1	3	1	1	5	5	5	0	0	0	23	37
	累計	1	2	3	6	7	8	13	18	23	23	23	23	-	-

平成30年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	3	4	3	1	3	2	31
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	3	4	3	2	3	2	37
	累計	3	6	8	12	16	20	23	27	30	32	35	37	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

令和元年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
12月											
1	R1.12.2	1. 都道府県	ポンプ場	①負傷事故	1.墜落・転落	設備関係(高架水槽など)の日常巡視点検において、作業員が高所(約2m)の点検中に、はしごが動き落下した。	現在、はしごを設置して点検しているため、昇降用の階段を設置。高架水槽の周囲に安全柵を設置。昇降用の階段、安全柵の設置完了までの間、はしごで昇降する際は必ず補助者を付けて、はしごがずれないように固定してから昇降する。月例点検、年次点検において、墜落・転落、巻き込まれに関する危険を伴う点検を拾い上げ、受託者の本社立ち合いのもと点検を行う。点検後は、マニュアルの改訂を行い、点検者に遵守するよう周知徹底を図る。	委託先業者	55	男	左鎖骨遠位端骨折
2	R1.12.4	3. 一般市	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	稼働中の脱水機にある「ろ布」表面の剥離しない汚泥を掻き落とす作業を木製の棒を両手で持ち、行っていたところ、脱水機フレームに取付られた固定金具とこれに向かって水平に動く「ろ板」に取付られた金具との間に、手袋ごと右手を挟まれ、右手親指が切断された。脱水機フレームの背面にある固定金具は、作業員から死角となっており、存在を認識しておらず、挟まれる危険を予知できなかった。	本災害の周知徹底及び被災箇所に注意喚起表示。汚泥掻き落とし作業時の機器停止徹底。汚泥剥離改善に向けた設備補修の早期実施。	委託先業者	51	男	右手第一指(親指)切断
3	R1.12.5	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	14.その他	台風19号災害により浸水した水処理棟において、次亜塩素酸注入装置周辺の泥撤去及び清掃作業中、罹災者が手にしていた箕(み)を誤って配管にぶつけ折損させ、次亜塩素酸ナトリウムが噴出。あわてて本人が噴出部を手で押さえたところ圧力が強く顔面に被った。罹災者は作業予定箇所以外の場所に入ったため保護具(メガネ等)を着用していなかった。当処理場に勤務して間もない罹災者への薬品類に関する教育が不足していた。	予定外作業の禁止。薬液周辺作業での保護具使用の徹底。新人教育の徹底。	委託先業者	31	男	化学熱傷(左目・顔面)
4	R1.12.7	3. 一般市	処理場	①負傷事故	6.激突	処理場の受入槽内の夾雑物をバキュームホースにより吸引作業を実施していたところ、そのホースが大きく暴れ、槽上部でホースを支持していた作業員の顔面下部を強打した。ホースでスカム及び残渣を吸引する際、作業員がホースを体に密着させて支持を行っていたが、スカム及び残渣に固形物が多かったこと等により吸引力が急激に上がり、想定以上にホースが跳ね上がったため、支持しきれなくなり、顔面下部を強打したものである。	再発防止協議会を開催し、安全教育と作業姿勢の見直しを含む手順書を作成した。吸引ホースを金物(ホースキャッチャー)でマンホール取っ手部分へ堅固に固定し、作業員による抱え込みでのホース支持は行わない。	委託先業者	47	男	下唇裂傷、周辺筋肉裂傷
5	R1.12.20	3. 一般市	処理場	①負傷事故	1.墜落・転落	脱水ケーキをホッパーから専用運搬車両(脱水汚泥運搬用コンテナ車)へ積み込み、タンク上部でタンク内の脱水ケーキを均す作業をしていた。ヘルメット、安全帯を着用していたが、安全帯をかけ替えるために一時的に外した際、足を踏み外し、転落した。車両左側に接触した後、地面へ落下した。	転落防止のためチェーンブロックを設置。チェーンブロックと安全帯の2つを使用することにより、安全性の向上を図る。	委託先業者	60	男	左脛骨高原骨折

3.事故発生状況(工事)

(令和元年12月末現在)

令和元年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成30年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	1	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	8	11
	2. 政令市	3	6	2	4	2	2	6	1	1	0	0	0	27	43
	3. 一般市	2	3	0	5	6	6	7	7	5	0	0	0	41	65
	4. 町村	0	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	6	7
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	6	10	3	10	8	8	16	11	10	0	0	0	82	126
工事分類	1. 管きょ開削	1	9	0	5	6	6	7	6	6	0	0	0	46	79
	2. 管きょ推進	3	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	7	13
	3. 管きょシールド	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	4	7
	4. 管きょその他	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5	9
	5. 処ボ土木建築	1	0	0	0	0	1	6	1	1	0	0	0	10	7
	6. 処ボ機械電気	0	0	2	0	1	0	1	3	3	0	0	0	10	10
	7. 処ボその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合計	6	10	3	10	8	8	16	11	10	0	0	0	82	126
事故類型	1. 墜落・転落	1	0	2	0	1	1	5	4	1	0	0	0	15	25
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	1	0	3	2	3	5	3	3	0	0	0	20	13
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	5	9
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	5
	5. 転倒	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	11
	6. 激突	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	2
	7. 土砂崩壊	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	6	5
	8. 交通事故	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	3	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	9	4
	12-2. 公衆災害(物損)	2	5	0	3	2	3	1	1	0	0	0	0	17	42
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7	
合計	6	10	3	10	8	8	16	11	10	0	0	0	82	126	
被災者数(人)	1. 死亡	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4	2
	2. 重傷	1	2	2	4	6	4	13	8	4	0	0	0	44	70
	3. 軽傷	3	2	1	6	0	0	3	1	5	0	0	0	21	19
	合計(人)	4	5	3	10	6	5	16	10	10	0	0	0	69	91
	累計	4	9	12	22	28	33	49	59	69	69	69	69	-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

平成30年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 重傷	2	4	5	10	3	5	5	8	10	7	8	3	70
	3. 軽傷	1	1	1	9	1	0	1	2	0	2	1	0	19
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	6	10	10	9	11	3	91
	累計	3	8	14	33	37	42	48	58	68	77	88	91	-
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

令和元年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			被災者					
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
12月										
1	R1.12.3	3.一般市	1.管きょ開削	吊上げ	現場内	マンホール設置のため、重機を用いて躯体ブロックの吊上げ作業をしていたところ、重機がバランスを崩し、躯体ブロックと土留め板の切梁が接触した。その際、掘削面にいた作業員が退避しようとして、鋭利な部分を掴んで手を裂傷した。	4.切れ・こすれ	20	男	右手 人差し指、左手薬指・中指、2～3cm裂傷
2	R1.12.4	4.町村	1.管きょ開削	立込み	現場内	下水道管路の布設工事において、軽量鋼矢板を立て込むため、作業員が掘削面に立ち入ったところ、掘削側の土砂が崩壊し、作業員が土砂に埋もれた。	7.土砂崩壊	33	男	死亡
3	R1.12.9	1.都道府県	1.管きょ開削	簡易土留めの解体	現場内	簡易土留めの解体作業中、解体途中で仮置きしていた切梁が作業員の足の上に落下した。	3.飛来・落下	58	男	左第1中足骨骨折
4	R1.12.9	3.一般市	1.管きょ開削	簡易土留めの組換え	現場内	簡易土留めの組換え作業中に、切梁に足をかけてよじ登ろうとしたところ、足を滑らせ、大腿前部を強打した。	6.激突	61	男	左腸骨骨折
5	R1.12.9	2.政令市	1.管きょ開削	地先境界ブロックの撤去	現場内	下水道管路の布設工事において、地先境界ブロックの撤去作業に従事していた作業員が、後退してきたバックホウに足を踏かれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	66	男	右足首骨折
6	R1.12.10	1.都道府県	6.処ボ機械電気	吊上げ	現場内	消化タンクの設備更新工事において、ガス安全器の取り付け作業中、ガス安全器が倒れてしまい、作業員の腕がガス安全器と取付け台の間にはさまれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	26	男	左腕 手首～ひじの骨にひび、腕に内出血
7	R1.12.12	3.一般市	1.管きょ開削	資材運搬	現場内	敷鉄板をバックホウで吊上げ設置する際、フックが外れ、敷鉄板が転倒し、介添えしていた作業員の足が敷鉄板と地面の間にはさまれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	71	男	右足親指、人差し指、中指骨折
8	R1.12.12	3.一般市	6.処ボ機械電気	写真撮影	現場内	ポンプ場の機械設備の更新工事において、ポンプ槽内の写真を撮影しようと梁の上に立ち、対象物との距離を確保するため背後にあった脚立に片足をかけたところ、バランスを崩して1.5m下にある水中ポンプの上に落下した。	1.墜落・転落	42	男	左膝裂創、創感染 左膝蜂窩織炎
9	R1.12.18	3.一般市	6.処ボ機械電気	-	現場内	可搬式のバンドソーを運搬していたところ、持ち手部分と台座部分との留め具が外れてしまい、台座部分が被災者安全靴の鉄板が入っていない右足甲部に落下した。	3.飛来・落下	46	男	右第1中足骨開放骨折
10	R1.12.19	1.都道府県	5.処ボ土木建築	部材切断	現場内	木材を右足膝の上に乗せて、電動丸のこぎりで切断していたところ、木材のふしにのこぎりの歯が当たり、その勢いで刃が跳ね、右ひざの上あたりを裂傷した。	3.飛来・落下	74	男	太ももに12針を縫う怪我

令和元年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(令和元年12月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況

(令和元年12月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	1 (4)	2 (6)	3 (2)	5 (9)	7 (3)	1 (8)	5 (4)	6 (4)	2 (3)	0 (5)	0 (3)	0 (1)	32 (52)
	累計	1 (4)	3 (10)	6 (12)	11 (21)	18 (24)	19 (32)	24 (36)	30 (40)	32 (43)	32 (48)	32 (51)	32 (52)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (1)	0 (1)	1 (0)	2 (4)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	6 (16)
	2. 政令市	0 (0)	1 (2)	1 (2)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	11 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (3)	1 (0)	2 (4)	4 (1)	0 (7)	3 (2)	1 (1)	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	13 (26)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (4)	2 (6)	3 (2)	5 (9)	7 (3)	1 (8)	5 (4)	6 (4)	2 (3)	0 (5)	0 (3)	0 (1)	32 (52)
発生施設	1. 管渠	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (3)	1 (0)	0 (2)	1 (2)	2 (1)	2 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	9 (19)
	2. マンホール	0 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	4 (6)
	3. 処理場	1 (2)	1 (1)	0 (1)	2 (4)	2 (0)	1 (3)	2 (2)	3 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	12 (19)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (2)	2 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)
	合計	1 (4)	2 (6)	3 (2)	5 (9)	7 (3)	1 (8)	5 (4)	6 (4)	2 (3)	0 (5)	0 (3)	0 (1)	32 (52)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (0)	1 (3)	2 (2)	1 (4)	3 (0)	0 (1)	0 (1)	3 (2)	1 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	12 (17)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (9)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (2)	1 (1)	1 (0)	3 (4)	3 (2)	0 (7)	2 (2)	2 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (1)	0 (0)	12 (26)
	合計	1 (4)	2 (6)	3 (2)	5 (9)	7 (3)	1 (8)	5 (4)	6 (4)	2 (3)	0 (5)	0 (3)	0 (1)	32 (52)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (7)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	0 (2)	1 (4)	2 (2)	1 (4)	3 (0)	1 (3)	1 (1)	3 (2)	1 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	13 (25)
	⑥ その他事故(①~⑤以外の事故)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (2)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)
	水質事故 合計	0 (2)	2 (6)	3 (2)	5 (7)	6 (1)	1 (7)	5 (4)	4 (4)	2 (2)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	28 (43)
その他案件	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (9)	
水質事故等 合計	1 (4)	2 (6)	3 (2)	5 (9)	7 (3)	1 (8)	5 (4)	6 (4)	2 (3)	0 (5)	0 (3)	0 (1)	32 (52)	
状況分類	① 耐用年数経過	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (5)
	② 耐用年数以内	0 (2)	0 (2)	1 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (12)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (2)	0 (2)	1 (1)	0 (3)	1 (2)	0 (2)	0 (0)	3 (1)	1 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	7 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成30年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和元年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応
12月						
1	R1.12.12	3. 一般市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	住宅内で排水設備から溢水した汚水が雨水系統に流入し、雨水管を経由して、河川に少量の汚水が流出。 汚水系統 排水設備が木の根による閉塞を起こし溢水し、排水設備雨水系統に流入したものの。 市営団地管理会社による清掃により排水設備の閉塞を解消。敷地内及び雨水ますなど汚損施設の清掃を実施した。市営団地管理会社へ日常点検の指導を行った。
2	R1.12.24	2. 政令市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	下水道管(圧送管)の老朽化による損傷のため、下水等が道路上に流出。 バックアップ管の運用により、下水道使用において市民生活に影響なし。今後、損傷した部分の管体調査を行い、対応を検討する。